

ばしふいっくびいなすの釜山クルーズ(その3)

事務局長 池田良穂

クルーズ 4 日目は、朝から夕方までの瀬戸内海の航海で、これがこのクルーズに乗船することにした最大の理由だったといっても過言ではありません。

深夜に関門海峡を通過した「ばしふいっくびいなす」は夜の中にゆっくりと西に向かって航海し、夜明け頃には来島海峡の手前に到着して、針路を北に転じて三原瀬戸に向かいました。メインルートからは外れるので大型船との出会いは期待できませんが、島々を繋ぐ離島航路船や造船所の様子が見られるに違いありません。朝食もそこそこにブリッジの上にあるオブザーベーション・ラウンジに上がり、そこに陣取ってのシップウォッチングを楽しみました。三原瀬戸通過後、船は因島大橋を通過して、備後灘でメインルートに合流して瀬戸大橋を通過しました。

以下、三原瀬戸から明石大橋に入るまでのレポートです。



① 大崎上島の木江港に到着する不定期貨物フェリー「フェリーみしま」と、内航船を建造する佐々木造船です。



③ 三原瀬戸の全景です。左に見える島が大久野島です。



② 竹原の発電所の前で、右に針路を変えて三原瀬戸へと入りました。



④ 大久野島の栈橋に停泊していた小型高速客船「ホワイトフリッパー」です。



⑤ 竹原と大三島を結ぶカーフェリー「第3 おおみしま」です。



⑧ 因島大橋の下を通過して、備後灘にでました。



⑥ 三原の今治造船広島工場(元の幸陽ドック)では 14000 個積みの大型コンテナ船の連続建造中でした。



⑨ 六島でしょうか。



⑦ しまなみ海道の因島と向島を結ぶ因島大橋に向かいます。



⑩ 11 時頃に瀬戸大橋を通過しました。



⑪ 先導船に導かれた大型タンカー「敦賀」と反航しました。



⑫ 三井造船の玉野工場が見えました。「なおしま」の姿も。



⑬ クロスした高速船 Red Bird の先に見慣れぬ船影が目に入ってきました。



⑭ 追い越してみると「ガンツウ」でした。長屋みたいとか、色が軍艦みたいとか、周りの乗客からはあまりよい評価は聞こえてきませんでした。



⑮ 小豆島～高松間のフェリー「第1こくさい丸」と交差。



⑯ 中央に巨大なクレーンをもつ重量物運搬船「KIBI」と反航しました。



⑰ 神戸～小豆島～高松を結ぶジャンボフェリーと反航しました。



⑱ 最近急速に成長する内航コンテナ船の雄井本商運のコンテナ船とは何隻も遭遇しました。



⑲ 船首形状のユニークな川崎汽船のタンカー「Genesis River」と反航しました。



⑳ 大型タンカー「Apollo Dream」を明石海峡の直前で追い抜きました。